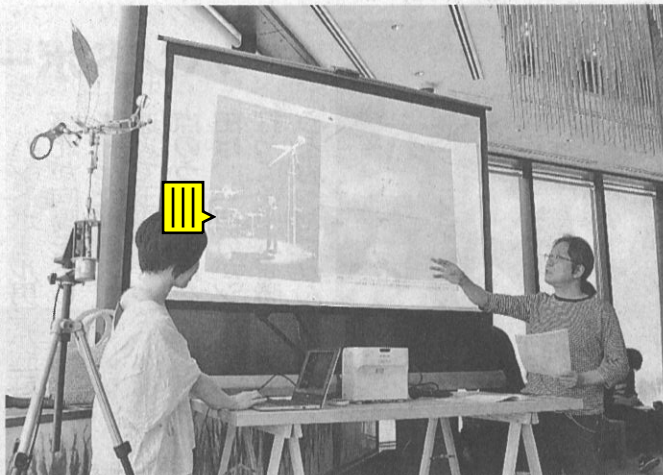


湖国の芸術祭 見に来て

BIWAKOビエンナーレ 東京で説明会

BIWAKOビエンナーレの報道関係者向け会
見て自身の活動や作品のコンセプトを説明する
出展作家(東京都中央区日本橋・ここ滋賀)



現代アートの国際芸術祭
「BIWAKOビエンナー
レ」の今秋開催をPRする
報道関係者向けの会見が9
日、東京・日本橋の滋賀県
情報発信拠点「ここ滋賀」
で開かれ、主催者や出展作
家が催しの概要などを説明
し、来場を呼び掛けた。
催しはNPO法人エナジ

ーフィールドが2001年
に始め、近年は近江八幡市
を会場に隔年で開催してい
る。都内での会見は2回目。
今秋に続く次回を東京五輪
と同じ20年に控えているこ
とや、昨秋のここ滋賀開設
を受け、幅広い発信のため
企画した。

会見では中田洋子総台デ

イレクターが古い建物の活
用など催しの特徴を説明
し、「会場自体が魅力にあ
ふれていて、歩いて巡る中
で観光的な楽しみ方として
もらえる」と訴えた。出展
予定の作家6人は作品の
コンセプトなどを紹介。
田中真聡さん(57)は「お
酒の工場だったという場
所性を大事にした作品に

したい」と意気込みを語っ
た。

BIWAKOビエンナー
レは9月15日〜11月11日、
市内12会場で海外作家20人
を含む計77組の作品を紹介
する。ここ滋賀では8月25
〜31日にも催しの紹介や、
参加作家が手掛けた作品の
展示販売を行う。

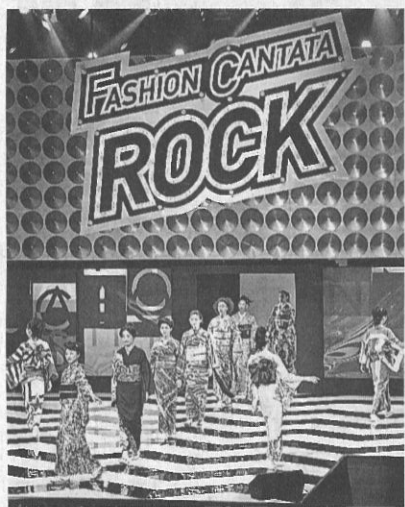
(笹井勇佑)

和装に「ロック」の息吹

京でファッションカンタータ

和装と洋装の競演を通じ
て新たな服飾文化を発信す
る「ファッションカンター

タ」が9日、京都市下京区
の京都劇場で催された。テ
ーマは「ロック」で、日本



ロックをテーマに繰り上げられ
た「ファッションカンタータ」
(京都市下京区・京都劇場)＝撮
影・船越正宏